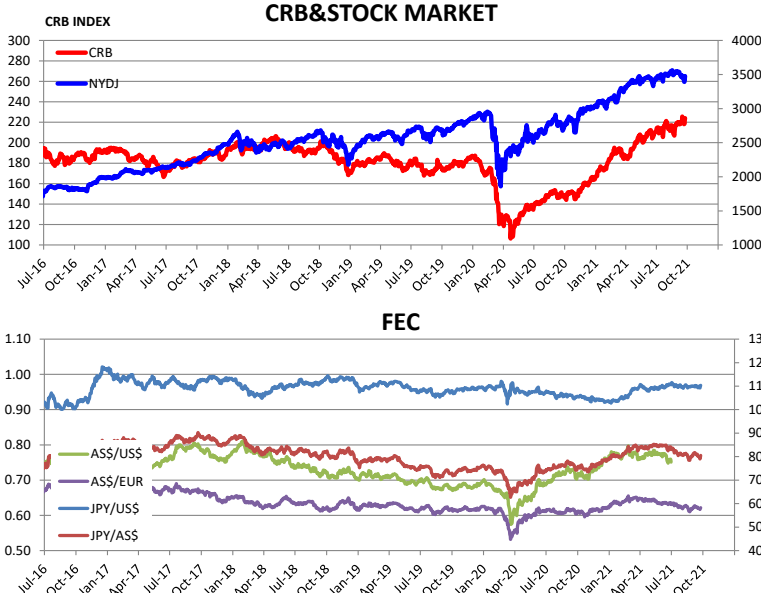
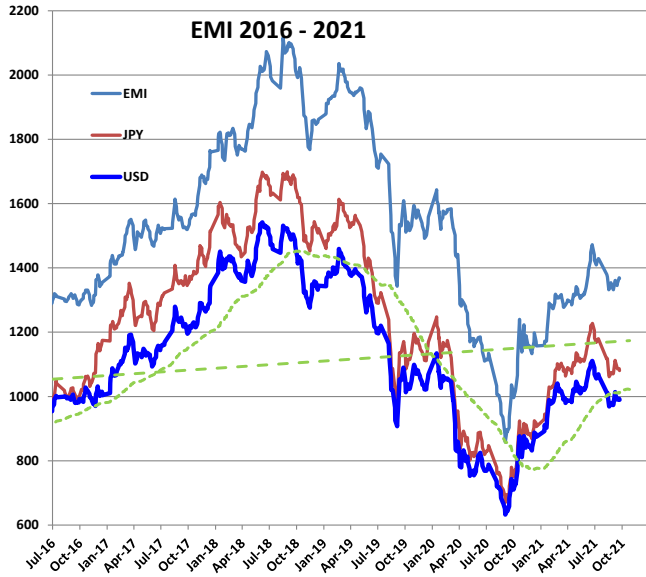


# Motohiro Weekly Market Report

24-Sep-21

SALE WEEK 12



## COMMENTS

Australian wool auctions produced largely positive results this week with around 83% of wools offered selling to improved levels.

The lower Australian dollar and an improved fine wool offering were the key issues that influenced this week's market. Interest from China is steady but cautious and this is the main underlying factor in the relatively stable market overall. However Italian interests competed strongly for quality superfine types this week. The clips with NM/CM status clearly preferred in general, obviously subject to quality first. Selected clips around 16.5/17.5 micron were up to 4% dearer. The ultrafine market is a little irregular around 14.5/15.0 micron due to the extreme prices that we've seen in recent weeks and the availability of these types is a little better at this time of the season. China's largest top maker and Europe's largest top maker were dominant with traders playing just a supporting role as they were out often out muscled by the big two.

Chinese activity finished the week strongly but again demand seems limited to the few large companies. It should be enough, along with continued interest from Europe to maintain an upward trend next week. With improved prices this week, next weeks volumes on offer have grown 9% to see 41,687 bales being offered at a Wednesday/Thursday sale series.

今週の羊毛市場は細番手中心に堅調展開となった。主戦場は18.5ミクロン以上のスーパーファインタイプで、イタリア勢と大手中国メーカーの競合により上げ幅を拡大した。一方で中国国内市場向けの原料商売は引き続き様子見ムードとなっており、中番手メリノに関しては所謂中国タイプ中心にまだ小幅な値動きに留まっている。またNMやRWS等のサステナ系羊毛は依然として大幅なプレミアムを維持している。他方、高VMや土砂系の格落ちタイプは目下の需給バランス的に大幅なディスカウントを余儀なくされている。雑種羊毛は相変わらず動意薄、紡毛タイプは品質の良いメリノタイプは堅調展開となっているが、スタンドタイプや太番手等は動きが鈍い。尤も今週中頃にかけたの資産市場のリスク許容度低下(株安&豪ドル安)といった外部環境面の逆風を考慮すれば今週の羊毛市場は総じて健闘したと言えよう。

買い手としては中国と欧州の大手トップメーカーの動きが目立っており、この2社が下値を支える役割を果たしていると言えよう。中国系トレーダーに関しては大手はある程度の数量を買っているが基本的に平均買いの範疇で相場を押し上げる意図は乏しい。中堅以下のトレーダーに関しては引き続き様子見ムード。

また例年よりヨーロッパ勢の動きが活発化している様に見受けられるが、その背景としてはアジア~欧州間のフレート高騰があるとみて間違いないだろう。ヨーロッパの商慣習として特にイタリアの一環メーカーやニッターは、原料手当てに関しては半年から1年の間の長期契約を結ぶところが多く、去年から今年にかけての急激なフレート高騰(原料コストにしてキロ1ドル以上のコストUP)により、採算の悪化した一部の中国メーカーとの間に値洗い問題が発生しているとの噂も聞こえてきている。更にはコンテナ不足による船積み遅れも常態化しており、目下のところ中国メーカーはヨーロッパ市場でかなり苦戦を余儀なくされているのが実情。その一方で今のところ原毛輸出に関してはオセアニアからヨーロッパ方面へのフレートはそこまで上昇していない事もあり、欧州メーカーにとってはコスト面と納期面とでそれなりにアドバンテージが発生している模様。現在豪州国内の化炭メーカーがヨーロッパ向けで忙しいというもほぼ同じ理屈だろう。更に最近のトレンドである原料のトレーサビリティ担保という追い風もあり、従来の中国方面より割高な欧州や豪州の人員費や加工コストを加味しても、中国メーカーに対する相対的な競争力がこれまで以上に上昇してきていると言えるかもしれない。

今週の細番手の堅調相場を受け来週の出引量は数週間ぶりに4万俵越えまで増加している。中国国内の原料市場は今週の株価下落の影響もありまだ雰囲気的にも慎重論が優勢の様だが、大手メーカーの機械需要といつもとより元気なヨーロッパ勢の動向などから来週の世界もある程度ポジティブな値動きが見込まれている。

## MICRON INDEX

~18.5mic	堅調。USDベース: $\Delta$ 1~2%
19.5mic	マチマチ。USDベース: $\Delta$ ~1%
20.5mic	マチマチ。USDベース: $\Delta$ ~1%
22.0-23mic	堅調。USDベース: $\Delta$ 1~2%
24.5mic	マチマチ。USDベース: $\Delta$ ~1%
XBD's	軟調。USDベース: $\nabla$ 1~2%
CARDINGS	堅調。USDベース: $\Delta$ 1~2%

## MAIN BUYERS/BALES

TECH-	4,550	TYN-	3,732	EWE-	2,948
FOX-	2,591	MOD-	2,428	AME-	1,848
SQA-	1,636	NEW-	1,510	PJM-	1,364
MICH-	1,192	KTEX-	1,083	GSA-	615

## NEXT SALES

Week 13 (29~30/Sep)

SYDNEY	11,461 BALES	(Supefine sale)
MELBOURNE	22,677 BALES	(1,500bs ex. NZM)
FREMANTLE	7,549 BALES	
TOTAL	41,687 BALES TO BE OFFERED	

<Motohiro Sydney Office>

## MICRON INDEX 2016-2021

